



④	①	
⑤	③	②
⑥		

- ①新成人を代表し宣誓する溝口政紀さんと鈴木瀬菜さん
- ②石原市長から代表の増田晃希さんに記念品が贈られた
- ③新成人の晴れ着姿に会場は華やかな雰囲気になった
- ④駆けつけた恩師からの温かいメッセージに耳を傾ける
- ⑤久しぶりの再会に、近況を報告し合い笑顔で記念撮影
- ⑥ケーブルテレビの取材にも落ち着いて答えていた



それぞれのステージ を全力で生きていく

成人式を迎えた若者が、大切な家族やお世話になった全ての人たちに感謝し、新たに歩み出す

1月8日、市民会館で成人式が開催されました。

スーツや振り袖に身を包んだ新成人323人は、厳しい時代に立ち向かう勇氣に満ちあふれた表情で、新たに成人となる決意を誓い合いました。

式典では石原市長が「努力すれば何ごとも成就できるはず。一人一人が人生の目標を立て、自分の夢や希望の実現に向かって、真剣にチャレンジをしてほしい」と激励のメッセージを送りました。

新成人を代表して、溝口政紀さんと鈴木瀬菜さんが、「私たちは、これから希望と誇りを持って人生を歩んでいきます。私たちが生まれた御前崎がこれからも発展し続けるよう微力ながら地域に貢献できるように努力します」と宣誓しました。

昨年発生した東日本大震災の被災地でも二十歳を迎えた若者がいます。この日、市民会館に集った新成人は、自分たちが成人式に出席できることのありがたさを噛みしめながら式典に臨んだことでしょう。

式典後は、久しぶりの対面を喜び合いながら、思い出を語り、写真撮影する新成人の姿が見られました。